



Department of English

Tohoku Gakuin University

2024

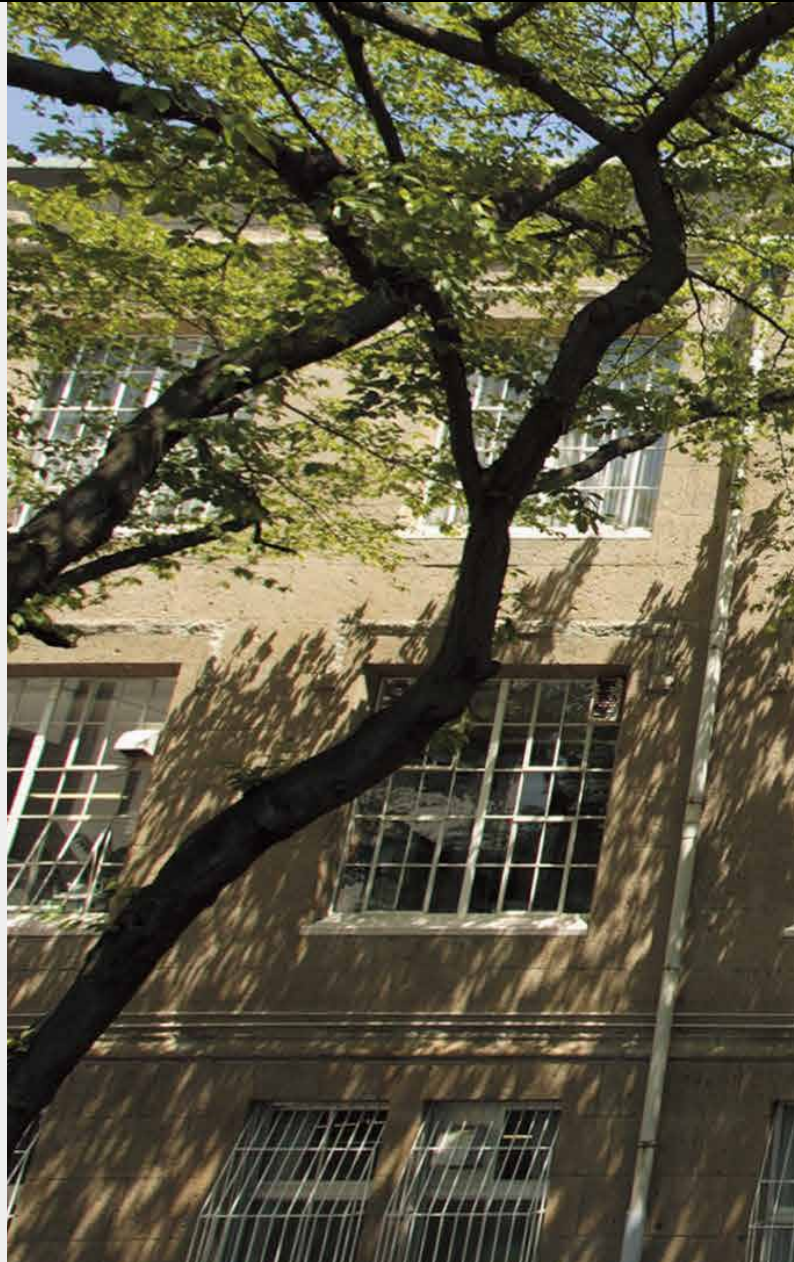
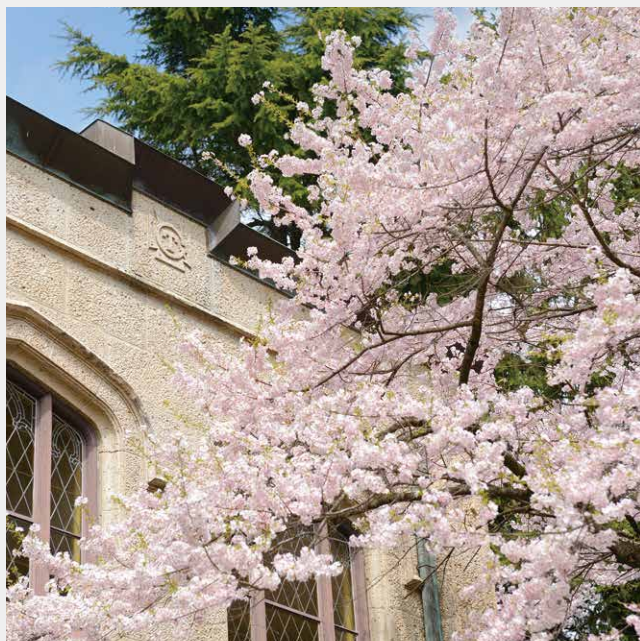
東北学院大学文学部英文学科案内

英文学科の歴史

135年を超える東北学院の歴史は、そのまま英文学科の歴史と重なります。キリスト教伝道の牧師養成のための神学校として創立された東北学院では、授業はアメリカ人宣教師によって英語で行われました。講義を受けるためには英語の4技能を習得しなければなりません。そのための教育課程が英文学科へと発展したのです。東北学院の英語教育は初めから「英語を」学ぶだけでなく「英語で」学ぶことが根本にあったこととなります。大正9（1920）年には東北学院専門部師範科を卒業すると無試験で英語教師の資格を取得できる全国でも数少ない学校として認可されました。北海道・東北を中心に関東から九州まで広く全国の教壇で東北学院の出身者が活躍し、「英語の東北学院」と呼ばれるようになった所以です。

草創期の明治時代には詩人の島崎藤村（のちに第一詩集となる『若菜集』に収められる詩は東北学院在職中に書かれました）をはじめ、ダンテの『神曲』（岩波文庫）の翻訳で知られる山内丙三郎（本学卒業生）、『詳解英和辞典』を独力で編纂した入江祝衛、アメリカで学んだ英語の新教授法を基礎に発展させ、英語教育で大きな成果をあげた音声学者としても有名だったポール・ゲルハート（明治30〔1897〕年から40年間東北学院の教壇に立ちました）など錚々たる教授陣が学生の指導にあたりました。英和と英英辞典を兼ねた画期的な『双解英和辞典』で岡倉賞を受賞した斎藤静も東北学院の卒業生で、のちに本学の教授になりました。

昭和24（1949）年に新制大学に昇格すると英文学科は、英語英文学を学問的に研究する総合大学の英文学科、実学的な英語の習得を目的とする外国語大学系の英語科、教育大学系英語教員養成課程の3種類の学科・課程を一手に担う学科として発展し、英語教育界はもとより、広範囲の領域に人材を送り続けてきました。昭和39（1964）年には大学院が設置され、既に100名以上の研究者・教育者を国公私立大学に送り出し、現在に至っています。



真の国際人の育成

英文学科の理念は、「国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育てることで、多様な文化に寛容な真の国際人を育成する」ことです。

真の国際人とはどういう人でしょうか。なによりもまず、国際語としての英語の高い運用能力を備えていることが、国際人の条件として挙げられるでしょう。英文学科では、英語を「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を、4年間で段階的に高めるカリキュラムを用意しています。4年次に英語でプレゼンテーションを行える程度にまで英語運用能力を高めることを目指して、「専門教育科目第1類」という科目群を提供しています。よく見比べていただけるとわかることですが、他の多くの大学では、英語スキル上達のための科目は、2年次までしか用意していません。4年間を通じて英語力を高めるカリキュラムが、東北学院大学英文学科の1つの大きな柱です。

また、真の国際人とは、単に英語運用能力が高いだけでなく、他者を理解しようとする人とも言えるでしょう。我が事のみならず、



する人は、自己と他者との「あいだ」に関心を向けられないからです。英文学科のもう1つの大きな柱である、2分野の専門カリキュラムによって、わたしたちは、他者理解をつうじて多元的な文化に寛容であることの重要性を学生に伝えたいと考えています。昨今のコロナ禍でいっそう明らかになりましたが、国内外で「わたしたち」と「その他のひとたち」を分けようとする動きが至る所に見られます。分断は対立を煽るだけですが、他者への想像力は共生への手がかりとなります。英文学科での学びによって、「自己」と「他者」とのあいだに知らず知らずのうちに引かれてしまう様々な「線」の存在に気づき、それを乗り越えようとする態度が身につくことを期待しています。

英文学科の専門カリキュラムは2つの学問分野からなっています。英米文学分野では、英米の詩・演劇・小説など文学作品の読解をつうじて、感情移入できる「わたしたち」にも、考え方の異なる多様な「他者」にも出会うことができます。英語学分野では、言語そのものを研究対象として、英語を含む言語の一般的特性や人間の言語能力を研究します。

言語は人間にとって大文字の（究極の）「他者」と言われることもあり、言語（他者）を通じた人間理解を深められる分野です。いずれの学問分野をつうじても、「他者」を理解しようとすることで「自己」のありように気づき、他文化や他者性への鋭敏な感覚が育まれるはずで

正課に加えて、さまざまな海外留学制度など、視野を広げる多くの活動に参加できる機会も用意しています。

英文学科での学びを経て、多様な進路選択が可能になります。英語の教員免許を筆頭に、博物館学芸員や図書館司書など、さまざまな資格を取得することができます。資格をもとにした就職や、英語力を生かした航空・旅行業界への就職だけではなく、地域に根ざした企業からグローバルに展開する企業まで、多種多様な業種に人材を輩出しています。専門の学問を深く学び続け、本学大学院への進学後に研究者として活躍されている方も多くいらっしゃいます。

英文学科長 福士 航

3つの理由で東北学院大学の英文学科を選ぶ

01

英語の運用能力を伸ばし、英語を使って発信する力を身につけることができます。

(→詳しい内容は下の「英語の運用能力を伸ばすカリキュラム(専門教育科目 第1類)」をご覧ください。)

02

2つの専門分野をはじめ広く学び、興味のある1分野を選んで掘り下げ、ことばと人間について深く学ぶことができます。

(→詳しい内容はP04をご覧ください。)

03

翻訳の実践的な技術、異文化論、英米の思想、英語以外の外国語も学ぶことができます。

(→詳しい内容はP04関連する領域について広く学ぶカリキュラム(専門教育科目第5・6類)をご覧ください。)

英文学科の専門教育

英語の運用能力を伸ばすカリキュラム(専門教育科目 第1類)

専門分野の内容を英語で発信出来るようにカリキュラムが組まれています。例えば、英語の発音の仕組みを学ぶ「English Phonetics」、英語の効果的な学習法を学ぶ「Learning English as a Second Language」、英語の4技能を専門レベルで高める「Integrated English」など、基礎から段階を追って英語運用能力を高めていきます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
英語についての基礎的知識を身につける科目	English Phonetics I・II	Learning English as a Second Language I・II	Introduction to English Grammar I・II	
専門的なトピックスに触れながら、英語を書く力を高める科目		Academic Writing I・II	Academic Writing III・IV	
専門的なトピックスに触れながら、英語を読み・書き・話し・聞く4技能を総合的に高める科目	Integrated English I・II	Integrated English III・IV	Integrated English V・VI	Integrated English VII・VIII

英米文学・英語学の専門カリキュラム(専門教育科目 第2～4類)

英文学科には2つの学問分野があり、1年次に両分野の概説を受講し、1年修了時に専修分野を決めます。2年次以降も、専修分野外の科目を受講することもできます。

	英米文学分野	英語学分野	
	英米の文学について、時代・ジャンル(小説・演劇・詩)を問わず広く学べます。 文学から、人間や社会、文化の有様を考察していきます。	英語の音声、文法、意味、歴史の研究を通して、言語の一般的特性を解明します。 言語を人間の認知システムのひとつとして科学的にとらえる学問分野であり、「ことば」と「脳」から人間を理解していきます。	
	1年次 両分野の概説を学びます	2年次 専修分野に所属します	3年次 演習(ゼミ)に所属します
英米文学分野	英米文学概説 I・II	イギリス文学史 I・II アメリカ文学史 I・II イギリス詩 I・II 英米文学講読 I・II	イギリス小説 I・II イギリス演劇 I・II アメリカ小説 I・II 英米文学講読 III・IV 英米文学演習 I・II
英語学分野	英語学概説 I・II	英語音韻論 I・II 英語統語論 I・II 初期英語 I・II 英語学講読 I・II	音韻論 I・II 文法論 I・II 英語史 I・II 英語学演習 I・II
			4年次 卒業試験を受験、または卒業論文を提出します
			アメリカ詩 アメリカ演劇 文学批評 I・II 英米文学演習 III・IV
			言語学 I・II 歴史言語学 I・II 英語学演習 III・IV

関連する領域について学ぶカリキュラム(専門教育科目 第5・6類)

専門科目に加え、将来、外国語を使って仕事をするうえで必要な知識や技術が身につく分野も用意されています。翻訳の実践的な技術、異文化論、英米の思想などを学ぶことができます。英語以外の外国語も学べます。

第5類	ギリシア語初級 I・II	ギリシア語中級 I・II	ラテン語初級 I・II	ラテン語中級 I・II
第6類	異文化論 I・II	英米思想史 I・II	翻訳実践 I・II	

※外国語科目第2類(全学科目)

1年次ドイツ語(IA・IB)あるいはフランス語(IA・IB)を選択必修、自由科目として中国語、韓国・朝鮮語も履修可能です。

2・3年次まで、上記の外国語全てについて発展科目を学ぶこともできます。

英語教育合同研究室

英文学科には「英語教育合同研究室」があり、自主学習のほか、授業や演習(ゼミ)の課題のためのグループワークや電子黒板を利用したプレゼンテーションの練習などをすることができます。また、英語の教師を目指す人は、教員採用試験の資料や教材も豊富にそろっているため、この研究室で試験準備や教育実習で行う授業の準備などにも利用できます。



英文学科の専門科目一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
		基本的な英語運用能力(読む・聞く・書く・話す能力)のレベルアップを図るとともに、全ての専門分野の概説科目を履修します。	専修分野を決定し、専門性を高めていきます。選んだ分野以外の科目も履修可能なカリキュラムです。	2年次に選択した分野でさらに専門的な勉強をしていきます。所属ゼミでは発表や討論の機会も多く、英語に触れない日はありません	高度な英語運用能力の修得に加え、専門科目の総まとめとして、卒業試験・卒業論文のいずれかを選択します。
専 門 教 育 科 目	第1類	Integrated English I・II English Phonetics I・II	Integrated English III・IV Academic Writing I・II Introduction to English Grammar I・II	Integrated English V・VI Academic Writing III・IV Learning English as a Second Language I・II	Integrated English VII・VIII
	第2類	英米文学概説 I・II 英語学概説 I・II	英米文学講読 I・II 英語学講読 I・II	英米文学演習 I・II 英語学演習 I・II	英米文学演習 III・IV 英語学演習 III・IV
	第3類	英米文学 分野	イギリス文学史 I・II アメリカ文学史 I・II イギリス詩 I・II	イギリス小説 I・II イギリス演劇 I・II アメリカ小説 I・II 英米文学講読 III・IV	アメリカ詩 アメリカ演劇 文学批評 I・II
	第4類	英語学 分野	英語音韻論 I・II 英語統語論 I・II 初期英語 I・II	音韻論 I・II 文法論 I・II 英語史 I・II	言語学 I・II 歴史言語学 I・II
	第5類		ギリシア語初級 I・II	ギリシア語中級 I・II ラテン語初級 I・II	ラテン語中級 I・II
	第6類			英米思想史 I・II 異文化論 I・II	翻訳実践 I・II
	第7類				卒業試験 卒業論文



専門教育科目コース・アウトライン

第1類	Integrated English I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII	1～4年	言語、文化、社会、心理、音楽、芸術、人権、差別、環境、平和などの国際理解に必要な様々なトピックについて、英語で聞き、話し、読み、書く言語活動を行い、英語の基礎的運用能力を統合的に伸ばすことができる。
	Academic Writing I・II・III・IV	2年、3年	さまざまな専門領域の問題について、英語の論理展開、パラグラフ構造を踏まえながら、まとまりのある英語を書く能力を育てる。
	English Phonetics I・II	1年必修	英語音声学の基礎(発音法、発音記号)を学びながら、英語の発音と聴解の基礎的スキルを身につけることができる。
	Introduction to English Grammar I・II	2年	英語の運用に必要な基本的文法事項の確認と定着を図る。
	Learning English as a Second Language I・II	3年	英語を母語としない人たちが英語を学習する際の諸プロセスを理解することで、効率的な英語学習法を身に付けることができる。
第2類	英米文学概説 I・II	1年必修	英米文学全般の導入科目。文学に関する総論を学修する。詩・演劇・小説の3ジャンルについて英米文学テクストを通じて理解を深めることができる。
	英語学概説 I・II	1年必修	英語学全般の導入科目。英語学における研究方法に触れながら、英語の文法研究や歴史的研究などの理解を深めることができる。
	英米文学講読 I・II	2年英米文学分野必修	英米文学研究の基本的文献を講読する。文学テクストの読解力を身につけることができる。
	英語学講読 I・II	2年英語学分野必修	英語学研究の基本的文献を講読する。テクストの読解力を身につけることができる。
	英米文学演習 I・II・III・IV	3・4年英米文学分野必修	英語で書かれた英米文学の基礎的文献の読解能力の向上を図るとともに、学生の発表や議論を通して英米文学研究の理解を深めることができる。
英語学演習 I・II・III・IV	3・4年英語学分野必修	英語で書かれた英語学の基礎的文献の読解能力の向上を図るとともに、学生の発表や議論を通して英語学研究の理解を深めることができる。	
第3類 (英米文学分野)	イギリス文学史 I・II	2年	イギリス文学の史的変遷を中世から現代に至るまで学修する。イギリスの歴史的推移と文学の関わりを理解を深めることができる。
	イギリス小説 I・II	3年	イギリスの小説全体の中からいくつかのテーマを学修する。小説とその背後にある文化的背景との関わりを理解を深めることができる。
	イギリス詩 I・II	2年	イギリスの詩全体の中からいくつかのテーマを学修する。詩とその背後にある文化的背景との関わりを理解を深めることができる。
	イギリス演劇 I・II	3年	シェイクスピアを中心としたイギリス演劇の中からいくつかのテーマを学修する。演劇とその背後にある文化的背景との関わりを理解を深めることができる。
	アメリカ文学史 I・II	2年	アメリカ文学の史的変遷を植民地時代から現代に至るまで学修する。アメリカの歴史的推移と文学との関わりを理解を深めることができる。
	アメリカ小説 I・II	3年	アメリカの小説全体の中からいくつかのテーマを学修する。小説とその背後にある文化的背景との関わりを理解を深めることができる。
	アメリカ詩	4年	アメリカの詩全体の中からいくつかのテーマを学修する。詩とその背後にある文化的背景との関わりを理解を深めることができる。
	アメリカ演劇	4年	アメリカの演劇全体の中からいくつかのテーマを学修する。演劇とその背後にある文化的背景との関わりを理解を深めることができる。
	英米文学講読 III・IV	3年	英米文学研究の文献を講読する。文学テクストや文学批評の理解を深めることができる。
	文学批評 I・II	4年	文学批評の歴史を学修する。実際の文学批評テクストを読み、文学批評の実践について理解を深めることができる。
第4類 (英語学分野)	英語音韻論 I・II	2年	英語音韻論の入門的文献の精読を通じて様々な英語の音声過程を展望し、生成文法の知見に基づいた音韻構造と音声解釈の手法についての理解を深めることができる。
	英語統語論 I・II	2年	英語統語論の入門的文献の精読を通じて様々な英語の統語現象を展望し、生成文法の知見に基づいた文構造と意味解釈の手法についての理解を深めることができる。
	音韻論 I・II	3年	近年の主要文献の精読を通じて英語の音韻現象をより一般的で普遍的な音韻特性の観点から考察し、音韻研究の諸相についての理解を深めることができる。
	文法論 I・II	3年	近年の主要文献の精読を通じて英語の文法を、より一般的で普遍的な統語特性の観点から考察し、統語研究の諸相についての理解を深めることができる。
	英語史 I・II	3年	英語がどのような歴史を経てきたかを、その内面的変遷と外面的影響の双方から理解を深めることができる。
	初期英語 I・II	2年	古英語・中英語・近代英語の講読を行い、英文学研究や英語の歴史的研究を理解するための基礎的知識を身に付けることができる。
	言語学 I・II	4年	社会的所産・規約としての言語、記号としての言語、刺激反応としての言語、認知体系の一つとしての言語、等の言語観から導き出される一般的特性を理解することができる。
	歴史言語学 I・II	4年	語彙・意味・音韻・統語等の歴史変化を通して見ること、英語の印欧語・ゲルマン語としての特徴とその変遷を、歴史言語学的観点から理解することができる。
第5類	ギリシア語初級 I・II	2年	古典ギリシア語入門
	ギリシア語中級 I・II	3年	古典ギリシア語中級講座
	ラテン語初級 I・II	3年	ラテン語入門
	ラテン語中級 I・II	4年	ラテン語中級講座
第6類	異文化論 I・II	3年	言語的・非言語的テクストの読解を通じて、主に英米の文化の多様性を理解し、さまざまな他者と出会い共生することの意義について理解を深めることができる。
	英米思想史 I・II	3年	英米の思想の歴史を学ぶことにより、文化や精神のありようについて理解を深めることができる。
	翻訳実践 I・II	4年	英文和訳を中心に、翻訳の実践的な能力の向上を図ることができる。
第7類	卒業試験	4年選択必修	各自選択した専門分野に関する課題について研究し、その十分な達成を図る。
	卒業論文	4年選択必修	各自設定した研究テーマについて論文を作成する。

教職科目

1年	現代教職論	教育基礎論	教育の制度と経営		
2年	教育心理学 英語科教育法(概論)	教育課程論 道徳教育の理論と方法(中学校教員免許取得に必修)	教育の方法と技術	教育相談の理論と方法	生徒指導・進路指導の理論と方法
3年	英語科教育法(理論) 特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	英語科教育法(実践)	英語科教育法(応用)	特別支援教育論 介護体験実習(中学校教員免許取得に必修)	
4年	教育実習I・II	教育実践演習			

さまざまな留学制度

交換留学制度

本学では、アメリカ・イギリス・ドイツ・中国・韓国などの協定校との間で、相互に留学生の交換を行っています。交換留学では、相手校の学費の相互免除、留学期間の在学期間への算入、取得単位の認定等の特典があると同時に、本学の留学生奨学金が給付される制度に申請することができます。過去5年間の英文学科から派遣された交換留学生の留学先は右に示す通りです。

派遣年	国	派遣先
2017	アメリカ	フランクリン&マーシャル大学
2018~2019	中国	山東大学
	ドイツ	トリア大学
	韓国	ソウル神学大学
2019~2020	ドイツ	ルートヴィヒスハーフェン経済大学
2021~2022	ブルガリア	ソフィア大学

夏期留学制度

本学では、「海外研究A」という授業科目の一環として約1ヶ月間の留学制度を設けています。留学前に英会話等の授業を受講し、留学先の大学生活で必要な英語力を身につけます。夏休みにアメリカのアーサイナス大学で、実践的な英語能力を伸ばす授業の他、専任教授による歴史学などの専門講義を受講します。アーサイナス大学での生活は、寮やホームステイが中心です。寮生活では、現地の大学生・院生がアシスタントとして、毎日、本学学生のサポートをしてくれます。また、ウエルカムパーティ、日曜礼拝、ジャパンナイト等、現地の学生や地域コミュニティの方々と触れ合う行事がいくつもあります。このように、この留学では、英語運用能力を身につける絶好の機会が多数用意されています。さらに、アーサイナス大学で生活を送った後は、アメリカ東海岸の諸地域を訪ね、国際性を身につけることもできます。

認定留学

協定校以外の大学で、学生が留学を希望し、本学学長が留学先大学として認定したときの留学を「認定留学」といいます。交換留学と同じように、留学先大学で正規の授業を受けて取得した単位は、所定の手続きを経て本学の卒業に必要な単位に振替または換算されます。また、海外留学生奨学金給付制度に申請することもできます。



2021～2022年交換留学体験談



↑ 右から2番目が小野さん

英文学科4年

小野 風雅さん (宮城県名取北高等学校)
2022年2月 ブルガリアの首都ソフィアにて

ブルガリア中東部に位置するヴェリコ・タルノヴォの城塞から旧市街を見下ろした様子。第二次ブルガリア帝国の首都で、大相撲の元琴欧州関の出身地。2022年2月撮影→

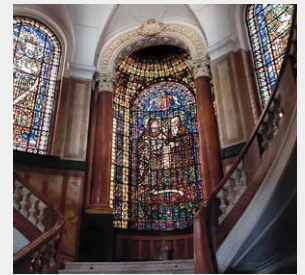
私は東北学院大学の学生として、ソフィア大学に初めて派遣されました。海外へ出た経験が殆どなかったため、当初は不安でしたが、現地の学生の皆さんのお陰で今は楽しく生活しています。

ソフィア大学の良い点は、日本学科が設置されているためか、日本文化や日本語に興味をもっている学生がたくさんいることです。そのような学生たちと、日本について話し合う機会があるだけでなく、今まであまり意識してこなかった日本とブルガリアの関係について考える機会も多くあります。

ブルガリアは本当に興味深い国です。日本人にとって馴染みのあるバラやヨーグルト以外にも、日本にはない文化や風習も多くあります。また、ローマ帝国やオスマン帝国の統治の時代を経ているため、東西の文化が混在しているのも、ブルガリアの魅力のひとつと言えます。さらに、社会主義国家であった時代の痕跡を、町のいたるところで見ることができます。日本と全く異なるだけでなく、西欧とも一味違う世界に興味のある方には、是非ブルガリアを訪れてください。



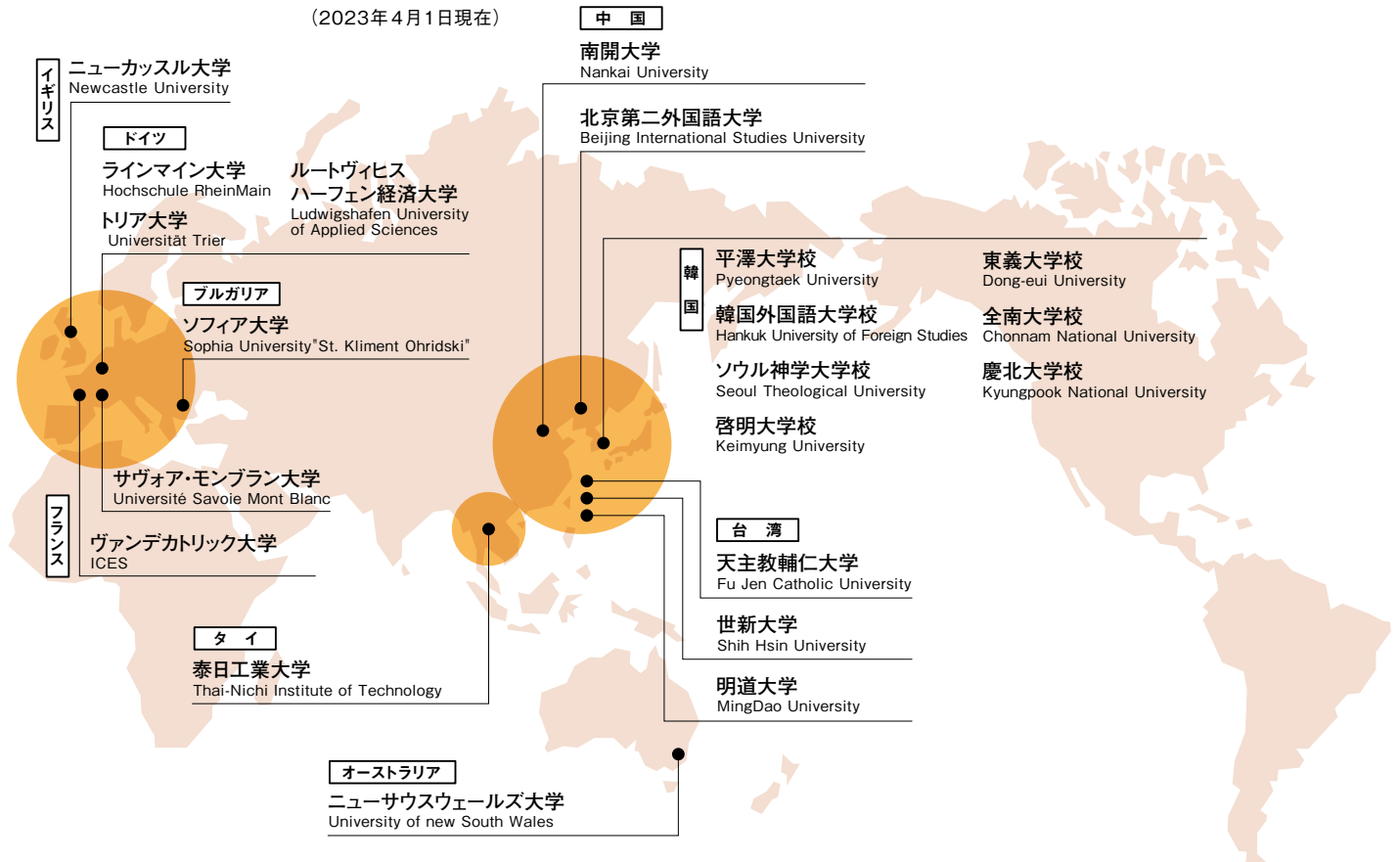
地下鉄Serdika駅のある交差点
2021年10月撮影



ソフィア大学本館の中央エントランスのステンドグラス
2021年9月撮影

学生交換協定を結んでいる大学

(2023年4月1日現在)



教員紹介

01 職名・学位

02 名前

03 2023年度演習テーマ

04 専門領域

05 研究テーマ

01 教授・博士(文学)

02 石橋 敬太郎

Ishibashi, Keitaro

03 アルフレッド・テニソンの詩を読む

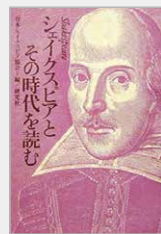
04 初期近代イギリス演劇

05

シェイクスピアなど初期近代イギリスの演劇作品を執筆された時期の文脈に位置づけて、その政治的・宗教的な意味を明らかにすることに関心があります。たとえば、現存する公文書から、劇中に描かれている国王の神聖な生得の権利に対する疑いや、イスラム諸国で直面した人物たちのカトリック信仰への改宗の問題などを浮かび上がらせることです。また、歴史実証主義的な立場から、イギリス詩の時局的な意味の解明を手掛けています。



『シェイクスピア時代の演劇世界』
九州大学出版会(2015)(共著)



『シェイクスピアとその時代を読む』
研究社(2007)(共著)

01 教授・Ph.D.

02 泉 順子

Izumi, Yoriko

03 イギリス小説を読む

04 20世紀イギリス小説・文化

05

20世紀前半以降のイギリス小説と文化を〈人間・環境・ウェルネス〉という観点から研究しています。近年は、短編小説、W.サマセット・モームの個別作家研究と並行して、人間の五感と環境の相互影響、利他と慈善の精神、読書に関連した諸活動と言説について文学研究の視座から考察できるよう勉強しています。



『愛と戦いのイギリス文化史
1951-2010年』
慶應義塾大学出版会(2011)(共著)



『「プリンセス・ダイアナ」という生き方』
丸善プラネット(2019)

01 准教授・修士(文学)

02 井出 達郎

Ide, Tatsuro

03 近現代アメリカ小説を批判的に読む

04 20世紀英米文学

05

20世紀前半以降の英米文学作品を扱い、「場所」をテーマに研究しています。当時の芸術や学問の諸分野に共通にみられる絶対的な視点の喪失、主体と客体の関係への問い直し、表層と深層の発見、時間と空間の新しい考え方といった問題に照らし合わせながら、文学作品が描く場所に関するモチーフについて考えています。より現代に近い作品を視野に入れながら、「世界に在る」という根源的な感覚と文学とのつながりを探っていくことが目標です。



Between the Universalist
State and the Outside:
'America' as Double
Community in William
Faulkner's *Red Leaves*
『北海道アメリカ文学』
第24号,89-104(2008)



Going after 'Jason Compson':
The dialogic turn in William
Faulkner's *The Sound and the Fury*
『北海道英語英文学』
第51号,1-12(2006)

01 教授・文学修士

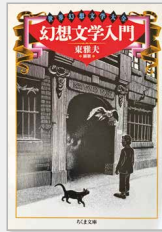
02 植松 靖夫

Uematsu, Yasuo

03 英文の精読とGothic Storiesの理解

04 イギリス小説

05 学生時代から主に科学思想とイギリスの小説家、特にAldous HuxleyやH.G.Wellsなどの関わりに関心をもって研究してきましたが、現在はそれに加えて帝国主義・植民地主義が19世紀以降の小説や小説家の思考様式に潜在的に与えた影響と、精神分析を中心とする胡散臭い擬似科学的思考が20世紀以降の小説に与えた(悪)影響に特に関心をもって勉強しています。



東雅夫(編)
「幻想文学入門」
筑摩書房(2012)(翻訳)



H.メイヒュー
「新装版 ヴィクトリア時代
ロンドン路地裏の生活誌」
原書房(2011)(翻訳)

01 教授・文学博士

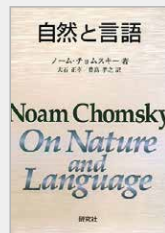
02 大石 正幸

Oishi, Masayuki

03 「言語」のデザインと統語システム

04 言語学・英語学

05 チョムスキーの生成文法の視点から、言語論、言語理論、史の変遷などに興味を持っています。言語の基本的構造としてどのような特性があるのか、それを特徴づけているメカニズムとしてどのようなものがあるのか、などに焦点を当て、それによって見えてくる言語の綺麗な姿を楽しみたいと思っています。



チョムスキー
「自然と言語」
研究社(2008)(翻訳)



チョムスキー
「言語と思考」
松柏社(1999)(翻訳)

01 准教授・博士(文学)

02 大沼 仁美

Onuma, Hitomi

03 語形成過程

04 言語学・音韻論

05 言語音に関わるさまざまな現象の仕組みの解明に興味があります。特に、異なる言語の間にある普遍性、相違性を理論的に説明することを目指しています。現在は、普遍文法に基づく理論を用いて、英語を含む各言語の音体系をどのように表示できるかというテーマを主に研究しています。



「現代音韻論の動向」
日本音韻論学会20周年記念論文集
開拓社(2016)(共著)



Language Acquisition
at the Interfaces:
Proceedings of GALA 2015,
Cambridge Scholars Publishing
(2015)(共著)

教員紹介

01 職名・学位

02 名前

03 2023年度演習テーマ

04 専門領域

05 研究テーマ

01 教授・Ph.D.

02 豊島 孝之

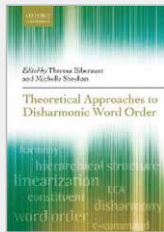
Toyoshima, Takashi

03 統語演算システムと統語演算操作

04 言語学・認知科学

05

生成文法を中心に、言語学、分析哲学、情報科学などの認知科学一般に興味を持っています。特に最新の生成文法理論で問題とされる統語演算システムを情報科学の観点から研究しています。人類の様々な自然言語と他生物のコミュニケーション能力の共通点・相違点は何か、どのような脳神経基盤をもち、どのような演算能力に基づき、なぜ人類だけがそのような能力を持つのか、などを考えています。



Theoretical Approaches to Disharmonic Word Order, Oxford University Press (2013) (共著)



R.A.ウィルソン, F.C.カイル
「MIT 認知科学大事典」
共立出版(2012) (共訳)

01 教授・Ph.D.

02 那須川 訓也

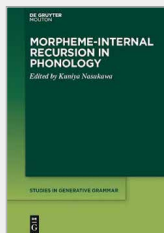
Nasukawa, Kuniya

03 音韻現象の分析

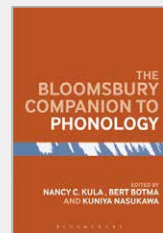
04 言語学

05

音声にかかわるあらゆる側面に興味があります。その中でも、特に、音声にかんする特性の種類と、音声現象（音の配列、音同士の影響関係、アクセント・パターン、史の変遷、地域の変異、等）を支配する規則性を、普遍文法の立場から解明することに 관심이あります。



Morpheme-internal Recursion in Phonology, Mouton de Gruyter (2020) (編)



The Bloomsbury Companion to Phonology, Bloomsbury (2013) (共著)

01 教授・Ph.D.

02 バックレイ, フィリップ

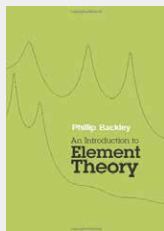
Backley, Phillip

03 Sound change in the history of English/
English intonation and communication

04 Phonology

05

私の研究分野は音声にかかわるあらゆる側面に関与しています。特に「ジャパニーズ・イングリッシュ」と称される日本人学習者による英語の発音がコミュニケーションに及ぼす影響に興味があり、現在、より自然な英語の発音を習得するための教材を開発中です。また、人間の脳の中で言語音はどのような形をなしているのかという問題を、第二言語習得における母語干渉の観点から解明することを試みています。



An Introduction to Element Theory, Edinburgh University Press (2011)



Strength Relations in Phonology, Mouton de Gruyter (2009) (共著)

01 教授・博士(文学)

02 福士 航

Fukushi, Wataru

03 シェイクスピア劇を読む

04 イギリス17世紀演劇

05 イギリス王政復古演劇における〈他者〉表象. Aphra Behnの作品を中心に, 王政復古演劇の文脈では〈他者〉と表象されるものに興味を持って研究しています. 例えば「女性」. たとえば「黒人」. たとえば「田舎者」. それらが表象される背後にどのような言説の影響関係があるのかをおもに研究しています.



『イギリス王政復古演劇案内』
松柏社(2009)(共著)



『フィクションのポリティクス』
英宝社ブックス(2015)(共著)

01 准教授・文学修士

02 森山 盛吉

Moriyama, Moriyoshi

03 ゴシック的特徴から, ホーソンの
短編小説を読む

04 アメリカ文学ルネッサンス期, リアリズム

05 ナサニエル・ホーソンの短編・長編作品を距離の概念を中心にメタテクニク的に捉えてきましたが, 今後は, ホーソンのロマンスを物語的視点から分析して, その世界の構造を明確にしたいと考えています.



ハル・シロヴィッツ
『母が言った』
(2002)(共著)



『メタ物語としての
『ウエイクフィールド』
— 距離の操作を中心に —』
『東北学院大学英語英文学
研究所紀要』第29号,
19-40(2000)

01 教授・M.A.

02 吉村 富美子

Yoshimura, Fumiko

03 英文リテラシー: 読み書きの関連性

04 英語教育学・英文リーディング・
ライティング

05 私はこれまで外国語のリーディングとライティングにおいて理解や学習がどのように起こるのかと, その応用として外国語教育をいかに行うべきかということをテーマに研究を行ってきました. 現在最も関心のある研究テーマは, リーディングで培った外国語力をどのような介入や指導をすればライティングの力に転移できるかということです.



『英文ライティングと引用の作法:
盗用と言われないための英文指導』
研究社(2013)



A scaffolded English
writing course for
Japanese university students.
JACET Journal,
53, 109-124(2011)

科目紹介



「イギリス小説I・II」

担当／教授 植松 靖夫

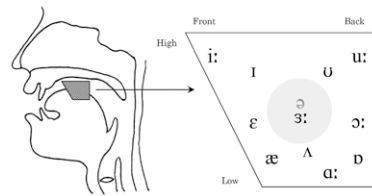
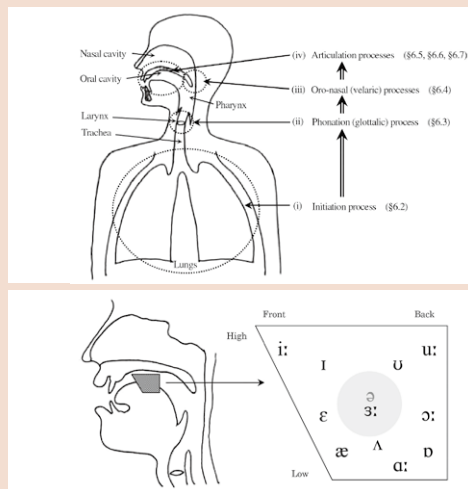
「19世紀イギリスを舞台とする小説（と映画）の背景知識を学び、正確に物語を理解し楽しむ」ことを目標とする講義です。例えば、「貴族とは何か?」とか「なぜ誰よりも親しいはずのワトソン博士がシャーロック・ホームズを“シャーロック”と呼ばないのか?」などイギリスの階級制度にまつわる常識や、カズオ・イシグロ原作の映画『日の名残り』では「どうして一番偉い召使が新聞にアイロンをかけているのか」など召使の世界、さらにイングランド教会（これを「英国国教会」と書いてある辞書も翻訳も間違いです）と社会との関係など、具体例を示しながら歴史的背景を解説します。なお、19世紀を取り上げるのは、英語の勉強をする教材として、この時代の「物語」がいちばん面白く、一生勉強できそうだからです。



「English Phonetics」

担当／准教授 大沼 仁美

「English Phonetics」(英語音声学)では、英語の聞き取りと発音記号での書き取りの訓練を行います。受講生の皆さんは、英語の様々な音の発音の仕方と、それらの音に対応する発音記号を学びます。そして、英語の音声を聞き取り、発音記号で書き取る練習を繰り返し行います。そうすることで、正しく聞き取れているのはどの音か、聞き取るのが苦手なのはどの音か、といったことを確認し、リスニング力の向上を目指します。発音練習をする機会もたくさんありますので、スピーキング力を伸ばすことにもなります。また、発音記号を理解できると、辞書を見て初見の単語の発音がわかるようになり、発音が分かると英単語の記憶への定着も期待できます。このように、「発音」は言語能力のほんの一部ではありますが、正しい理解と訓練を通じて、様々な面で英語力アップを期待することができます。



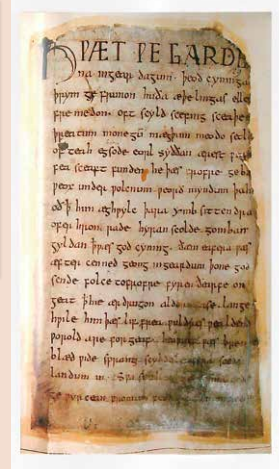
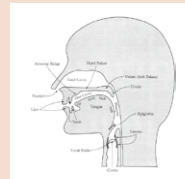
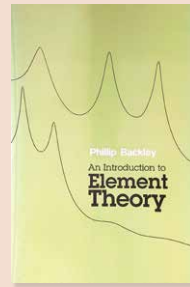


「英語史」「初期英語」

担当／教授 Backley, Phillip (イギリス出身)

「英語史」は、現代英語がどのようにして現在の形になったのかを理解するための授業です。英語は常に変化しており、シェイクスピアの英語(1500年代)やチャオサーの英語(1300年代)と、現代英語を比較しながら、英語の文法、語彙、発音の主要な変化について学びます。また「初期英語」の授業では、1,000年前の古英語(Old English)を学びます。古英語の文法や語彙を学び、古い文献を分析的に読むことで、現代英語をより深く理解することができます。

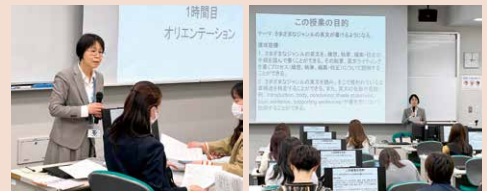
私が担当する授業は他にも「EnglishPhonetics」(英語発音の実践的能力を高める科目)や「英語音韻論」(母語話者の音声体系を学ぶ科目)等があり、すべて英語で行われます。課題も英語で書くことを義務付けていますので、私の授業の受講生は、英語のリスニングとライティングの能力を高めながら、英語に関する知識を身に付けることができます。



「英語科教育法」

担当／教授 吉村 富美子

私は、「英語科教育法(概論)(理論)(実践)」という中学校・高等学校の英語科の教員免許状を取得するのに必要な科目を担当しています。学生たちは、これらの授業を通して英語科指導に必要な知識やスキルを学ぶことになります。具体的に言えば、まず、「概論」の授業では、さまざまな英語指導法、その背景にある理論、学習指導要領に則った授業の組み立て方や評価の仕方、英語の4技能5領域の指導法等について、幅広く学びます。この授業に続く「理論」の授業では、英語の授業を英語を使って行うために必要な知識とスキルを学びます。この授業の中では、学生のみなさんに読解と文法について約10分間のミニ授業を準備し交代で発表してもらっています。さらに、「実践」の授業では、2~3人のグループで協力しながら50分の模擬授業を行ってもらい、その後その授業について学生同士で講評しあいながら、実践的な英語指導力を共同的に養ってもらうことを目指しています。



大学院 文学研究科 英語英文学専攻

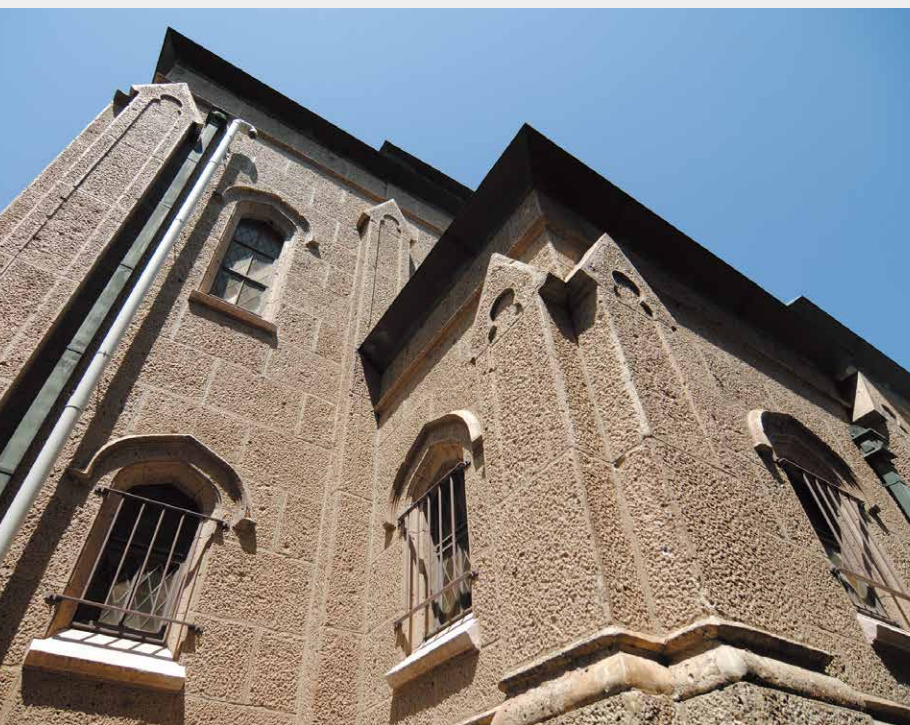
大学を卒業した後、専門の研究を続けようとする学生のための教育機関として大学院があります。英文学科で学んだことをさらに深く学ぶためには本学大学院文学研究科英語英文学専攻へ進むことができます。

英語英文学専攻は1964年創立で、本学で最も伝統のある専攻です。博士前期2年の課程と博士後期3年の課程があり、それぞれに英米文学分野、英語学・言語学分野、英語教育学・応用言語学分野の3つの研究分野があります。徹底した少人数教育を行い、第一線で研究する大学院担当教員と共に研究を進めます。

本専攻は、青山学院大学、法政大学、上智大学、明治大学、

明治学院大学、立教大学、東京女子大学、津田塾大学などの大学院と連携し、12大学院間で単位互換を始めとする研究教育の提携を行っています。

卒業後の進路は博士前期課程（2年）の修了者の多くは高等学校の英語教諭になっています。本学の英語英文学専攻博士前期課程を終了することによって、高等学校英語科専修免許状を取得することができます。博士後期課程（3年）の修了者の多くは、国公立大学および高専などの教員になり、英米文学、英語学、英語教育学の第一線の研究者として活躍しています。



過去の主な大学院進学先

■ イギリス

ウエルズ大学バンガー校大学院
 エクセター大学大学院
 エセックス大学大学院
 サリー大学大学院
 ダラム大学大学院
 ランカスター大学大学院
 ロンドン大学UCL大学院
 ロンドン大学パークベック校大学院

■ アメリカ

アリゾナ大学大学院
 インディアナ大学大学院
 ウィスコンシン大学大学院
 オハイオ大学大学院
 オハイオ州立大学大学院

カリフォルニア大学ロサンゼルス校大学院
 クレアモント大学大学院
 コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ大学院
 シカゴ大学大学院
 スタンフォード大学大学院
 ハワイ大学大学院
 ペンシルバニア大学大学院
 ミシガン州立大学大学院

■ オーストラリア

キャンベラ大学大学院

■ 国内

東北学院大学大学院
 東北大学大学院
 宮城教育大学大学院

北海道大学大学院
 秋田大学大学院
 山形大学大学院
 岩手大学大学院
 筑波大学大学院
 明治学院大学大学院
 上智大学大学院
 早稲田大学大学院
 上越教育大学大学院
 大阪市立大学大学院
 関西学院大学大学院
 兵庫教育大学大学院
 宮城学院女子大学大学院
 東海大学大学院
 明海大学大学院

過去の主な就職先

北海道公立学校教員	(株)エイチ・アイ・エス	(株)かんぼ生命保険	(株)岡村製作所
北海道私立学校教員	東日本旅客鉄道(株)	日本生命保険(相)	タカラスタンダード(株)
青森県公立学校教員	北海道旅客鉄道(株)	明治安田生命(相)	(株)ニトリホールディングス
岩手県公立学校教員	宮城交通(株)	第一生命保険(相)	アイリスオーヤマ(株)
秋田県公立学校教員	(株)ヤマコー	住友生命保険(株)	(株)ヨドバシカメラ
山形県公立学校教員	(株)ネクスコ・メンテナンス東北	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	(株)ダスキン
山形県私立学校教員		三井住友海上火災保険(株)	キャノンシステムアンドサポート(株)
仙台市公立学校教員	日本郵便(株)	ソニー損害保険(株)	(株)セント
仙台市私立学校教員	日本通運(株)		
宮城県公立学校教員	太平洋フェリー(株)	野村証券(株)	(株)星野リゾート・マネジメント
宮城県私立学校教員	ヤマト運輸(株)	SMBC日興証券(株)	(株)ウンノハウス
福島県公立学校教員	三陸運輸(株)	大和証券(株)	(株)東日本放送
福島県私立学校教員	(株)丸山運送	みずほ証券(株)	(株)岩手朝日テレビ
埼玉県公立学校教員		岡三証券(株)	(株)さくらんぼテレビジョン
新潟県公立学校教員	盛岡ガス(株)		東北放送(株)
神奈川県公立学校教員	一般財団法人東北電気保安協会	カメイ(株)	仙台放送(株)
千葉県公立学校教員		住友商事東北(株)	(株)廣済堂
東京都公立学校教員	(株)NTTDoCoMo東北		(株)リクルート
東京都私立学校教員	東日本電信電話(株)	全国共済水産業協同組合連合会	中央出版(株)
	ソフトバンク(株)	全国共済農業協同組合連合会	(株)小学館プロダクション
(学)岩手医科大学		日清丸紅飼料(株)	(株)第一広告社
学校法人東北学院	日本年金機構	日本食研(株)	(株)第一学習社
国立大学法人福島大学	日本赤十字社	森永乳業(株)	楽天(株)
(株)イーオン	(財)厚生会仙台厚生病院	(株)伊藤園	
	独立行政法人労働者健康安全機構	イオン(株)	凸版印刷(株)
(株)日本航空	公益財団法人仙台市医療センター	(株)ヨークベニマル	
全日本空輸(株)	協和発酵工業(株)	コストコホールセールジャパン(株)	国家公務員(一般職)
ノースウエスト航空	第一製薬(株)	スターバックスコーヒージャパン(株)	自衛隊
アジアナ航空(株)	大正製薬(株)	(株)ヤマザワ	刑務官
カタール航空会社	ファイザー製薬(株)	三幸食品(株)	地方公務員(宮城県)
キャセイパシフィック航空会社	久光製薬(株)	みやぎ生活協同組合	地方公務員(埼玉県)
シンガポール航空		三甲(株)	地方公務員(神奈川県)
マレーシア航空	郵便局(株)		地方公務員(北秋田市)
マカオ航空	(株)三菱東京UFJ銀行	丸善(株)	地方公務員(久慈市)
スカイネットアジア航空(株)	(株)三井住友銀行	(株)ツルハ	地方公務員(遠野市)
エアーストラル(株)	(株)みずほファイナンシャルグループ	(株)カワチ	地方公務員(花巻市)
(株)JALエクスプレス	(株)ゆうちょ銀行	ウエルシア薬局(株)	地方公務員(一関市)
(株)JALウェイズ	(株)七十七銀行		地方公務員(気仙沼市)
(株)JALスカイ仙台	(株)青森銀行	(株)ワコール	地方公務員(石巻市)
JAL東北国際サービス(株)	(株)秋田銀行	(株)オンワード樫山	地方公務員(多賀城市)
(株)エアサープ	(株)北日本銀行	(株)コム・デ・ギャルソン	地方公務員(松島市)
エアニッポン(株)	(株)山形銀行		地方公務員(東松島市)
アイベックスエアラインズ(株)	(株)荘内銀行	東京ベイヒルトン(株)	地方公務員(仙台市)
(株)新東京旅客サービス	(株)仙台銀行	大江戸温泉物語ホテルズ&リゾーツ(株)	地方公務員(名取市)
トランスコスモス(株)	(株)東邦銀行	ルートインジャパン(株)	地方公務員(米沢市)
中国北方航空公司	(株)北都銀行	仙台国際ホテル	地方公務員(柴田町)
(株)日本エアシステム	社の都信用金庫	(株)東北ロイヤルパークホテル	地方公務員(丸森町)
(株)日本航空インターナショナル	秋田信用金庫	(株)岩手ホテルアンドリゾート	地方公務員(亶理町)
(株)日本トランスオーシャン航空	福島信用金庫	一般財団法人休暇村協会	地方公務員(山田町)
福島航空サービス(株)	石巻信用金庫		地方公務員(警視庁警察官)
航空ターミナルサービス(株)	石巻商工信用組合	鹿島建設(株)	独立行政法人都市再生機構
ANA関西空港(株)	北上信用金庫	戸田建設(株)	
(株)JTB	八戸信用金庫	積水ハウス(株)	
(株)JTB東北	酒田信用金庫	大和ハウス工業(株)	
近畿日本ツーリスト(株)	東北労働金庫	住友林業(株)	
東急観光(株)	(株)ジャックス	東北セキスイハイム(株)	
東武トップツアーズ(株)	(株)七十七カード	東北ミサワホーム(株)	
名鉄観光サービス(株)	楽天カード(株)	(株)三井ホーム	
(株)読売旅行		日本鋼管(株)	

卒業生からのメッセージ

Message
01

尾形 那茅さん

2023.3卒
宮城県宮城第一高等学校出身

宮城県古川黎明高等学校

私は、高校時代から英語教師になりたいと考えていました。そして大学では、英語の歴史などについての専門的知識を学びたいと考えていたことから、自分の夢の実現と学びたい学問の両方の要件を満たす東北学院大学英文学科への入学を決めました。特に印象に残っている授業は、英語科教育法という科目です。授業内で、実際に自分が考えた授業を行ったり、他の人の授業を見たりすることで、実際の学校現場で働くにあたって生きる、実践力を身に付けることができました。私の場合、ある程度学びたい分野が決まっていたのですが、具体的に決まっていなくても、1年次で様々な分野の概説を履修することで、より専門的に学びたい分野を入学後にじっくりと考えることができるので心配はありません。

大学入学後は、高校生活との違いを感じました。その違いとは、何事も自分から行動する必要があるということです。高校時代より、自由に使える時間が増えるからこそ、自己管理能力が問われる場面が多くあります。自己管理能力は社会に出た後も、重要な力です。ぜひ、時間を有効的に使い、勉強はもちろんのこと、サークル活動や、留学、ボランティア、アルバイトなど常にアンテナを高くし、学生時代にしかできない多くのことに挑戦してみてください。さまざまな経験を通して、皆さんの英文学科での4年間の充実したものにすることを願っています。

Message
02

渡邊 黎さん

2023.3卒
山形県立新庄北高等学校出身

山形県舟形町立舟形中学校

私は中学校の英語教員になりたいと思い、英文学科を志望しました。大学入学後は、自分自身の英語力を向上させ、英語教師になるために必要な英語力を身に付けたいという思いで授業に臨みました。英文学科のカリキュラムは体系的であり、前の学年で習った内容を次の学年で活かすことができるようになっていと思います。そのため、各学年において自分自身の成長を感じられると思います。私は3年時には、1年次に興味を持った音韻論のゼミに所属し、大学でしか学ぶことができないような専門的な内容を学ぶことができました。また、ゼミでの発表を通して、プレゼンテーション能力や資料作成の能力等、社会で必要な能力も身に付けることができました。

2年次から専門分野に分かれていくと思いますが、他の分野の授業も受講することができるので、自分の興味に合わせて幅広く履修することをお勧めします。その他にも大学生活ではアルバイト、旅行、留学等様々な経験をしていくと思います。一つ一つの経験が皆さんの財産になることを願っています。そして、大学で学んだことを将来に生かして行ってほしいです。

Message
03

高見 周さん

2023.3卒
青森県立八戸北高等学校出身

千葉県市川市立宮田小学校

東北学院大学での4年間は、想像していたよりもあっという間に過ぎ去ってしまいましたが、様々な経験が自分を成長させてくれました。

この4年間で、英語に関する様々な知識はもちろんのこと、教育分野に関する知識も教職関連の授業を通して得ることができました。英語科教育法では英語の授業で使うことのできる実践的な内容を学ぶことができました。大学生活で大切なことは、自分で考え、行動することだと思います。高校生の頃に比べ、自由な時間が増えるため、自分が興味をもったことに挑戦できると思います。私は東北学院大学の教育学部以外の学部でも小学校の教員免許が取得できることを知り、取得することを決めました。小学校段階での英語教育の重要度が増してきている今、自分が大学で学んだ英語の知識を役立てることができることと知り、小学校の教員を目指すことにしました。

コロナ禍ということもあり、自分が入学当初に思い描いていたような大学生活を送ることはできませんでした。しかし、自分の中で目標を持ち、勉強やアルバイト、ボランティア活動に取り組んだことで成長することができました。大学生活は本当にすぐ終わってしまいます。自分が本当にしたいことを見つけ、挑戦することを忘れないください。

皆さんが充実した大学生活を送れることを願っています。

Message
04



遠藤 有香さん

2023.3卒
宮城県立名取高等学校出身

アイベックスエアラインズ株式会社

私は客室乗務員になりたいという夢があり、入学前にはオープンキャンパスはもちろん、先生方が開いた講演会にも参加しました。その結果、様々な視点から英語を学び、身につけられる東北学院大学の英文学科に興味を持ち、入学を決めました。また私自身、英語の音に興味があったため、英語学を専攻しました。英語学では、英語の音声の特徴や発音の仕組みを深く研究することができます。そのため普段聞き取れなかった単語を聞き取れるようになっただけでなく、それぞれの国の訛りの違いも認識できるようになりました。英語を学ぶ楽しさを再確認することができました。

大学生活では、エアライン系のスクールに通ったり、TOEICのスコアを上げたり、またアルバイトを通して将来の仕事に役立てることは何かを常に考えていました。一日の時間が足りないと感じるほどとても大変ではありましたが、今思い返せばとても充実した日々を過ごすことができたと感じています。コロナ禍の約2年間、オンライン授業で、キャンパスライフを半分過ごせなかった事はとても悲しかったですが、それでも沢山の方と出会うことができました。大学は積極的にやりたいことに挑戦していける場所です。楽しい時や悲しい時も周りにいる皆と支えあい、自分の夢に向かって取り組んでいってください。大学生活が記憶に残る充実したものになることを願っています。

Message
05



佐藤 理沙さん

2023.3卒
福島県立橘高等学校出身

株式会社JTB

東北学院大学の英文学科では、英語力の向上はもちろん、広い視野を持って物事を捉える力を身につけることができると思います。専攻していた英米文学分野の科目では、文脈だけでなく、出版当時の歴史的背景や作者の心情等といった多角的な観点から作品の考察を行いました。1つの考え方に囚われずに、自由な考え方で物事を捉えるという思考は、今後の社会人生活においても大きく活かせると思います。また、演習では、グループワークなどの活動で他の学生と活発な意見交換をする中で、自分一人では気付かなかった新たな発見を得られた場面が数多くありました。自分にはなかった価値観や考え方を吸収できたことは、自分の進路を決めるのに非常に大きな影響を与えてくれました。

大学時代に多くの出会いに恵まれた経験から、就職後はコミュニティや世代を超えた人々の交流を活性化したいと思いました。旅行を中心とした幅広い分野で交流を創造し、激しい社会変化においても共助・成長し合える世の中の創成に寄与したいと考えています。

最後に、大学4年間は想像以上にあっという間です。大学生活では学内外に数多くの挑戦のチャンスがあります。自分の好奇心に耳を傾け、ぜひ行動に移してみてください。皆さんの大学生活が充実した実りある4年間になることを願っています。

Message
06



倉成 早紀さん

2023.3卒
岩手県立水沢高等学校出身

アイリスオーヤマ株式会社

私は入学当初、この進路が正解か不安でした。明確な目標もなく、多少興味があるからと入学を決めたからです。しかし、今振り返ってみると私の決断は正解だったと胸を張って言えます。

私は中学時代訪れたオーストラリアにて、授業で習う英語と現地の英語の違いを肌で感じました。発音や文法、スラングの違いはもちろん、その土地特有の文化や人間性が言語に表れていると感じました。その経験を思い出し、社会言語学に興味を持つようになりました。

社会言語学を学んだことで、話す相手の出身地や性別、社会階級などを考慮してコミュニケーションがとれるようになりました。演習ではただ先生の話を聞くのではなく、プレゼンテーションやグループディスカッションが活発に行われ、意見を発言する機会も多く与えられます。情報収集力、思考力、そして何より、学生の興味関心を引き出し、主体性を伸ばすことができる環境であったと感じます。

大学生活は授業やサークル活動、アルバイト、友達との時間など、高校生までと違って自由に過ごすことができます。たくさんの人と出会い、多種多様な価値観に触れることになりました。これまで経験してきていないことで溢れていますので、新しく自分で行動を起こすことは不安だと感じるかもしれませんが、しかし、成功しても、失敗しても、いい人生経験だったと思える日が必ず来ます。行動することを恐れずに、自分の興味関心を大切にして充実した大学生活を楽しんでください。



文学部英文学科

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1 E-mail: eng@mail.tohoku-gakuin.ac.jp